

平成 26 年度知的財産管理技能 UP セミナー開催

大阪発明協会では、知的財産管理能力の向上を目的として、企業等における知的財産管理に関する知識と技能を測る国家試験であり、知的財産権分野の初歩的な管理能力があると認定される「知的財産管理技能士3級」を目指す方々を対象に、今年度新しく標記セミナーを会員・一般を問わないオープンセミナーとして、10月16日から11月27日まで毎週木曜日の18:30～20:30の2時間、全7回シリーズの夜間オープンセミナーとして開催いたしました。本セミナーは、大阪大学



知的財産センターとの共催のもと、一般社団法人知的財産教育協会の協力により開催されたもので、講師には知的財産教育協会からの紹介により、知的財産管理技能士1級を取得している3名の技能士を迎え、のべ13名の受講者を集めました。

11月30日に実施された第14回知的財産管理技能検定3級試験に合格することを目的としてスケジュールリング

された本セミナーは、まず1日目(10/16)と2日目(10/23)を竹本和広氏(たかおIPワークス)が担当し、主に「特許法・実用新案法・条約等関連法規」についてミニテストを交えながらわかりやすく凝縮された講義を行いました。3日目(10/30)と4日目(11/6)は、浅野卓氏(浅野国際特許事務所)が担当し、「意匠法・商標法・その他関連法規」について盛りだくさんの内容の中、熱意あふれる講義をしていただきました。5日目～7日目(11/13,11/20,11/27)は唯一の関西出身である杉浦達昌氏(杉浦行政書士事務所)が担当し、5日目に「著作権法」、そして6日目と7日目には模擬



テキストと質疑応答という独自のテキストを利用したまさに試験対策といった講義となりました。

当協会はさまざまなセミナーを開催していますが、このように試験対策に特化した内容のセミナーは初めてであったこともあり、スケジュールとして前半がやや詰め込みすぎた感があったことは否めず、今後の反省材料としたところでしたが、講師陣は三者三様ながら非常に熱心に受講者に対して向き合い、来る検定試験に向けて講義いただき改めて感謝いたします。受講者の11月30日の試験の結果は気になるころではありますが、良い結果が出ることを期待して、今後も2級対策やブランド専門1級などの対策セミナーも検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。